

「みんなでつくろう幸せな学校」



自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを実感できる地域にする

令和7年11月11日 第17号

## 初めての校外学習！



10月21日、1年生が初めての校外学習に行きました。行先は、千葉市動物公園。出発に先立ち、正門前に降りてきたのは6年生たちでした。もちろん、1年生の見送りです。大好きな6年生に見送られるとあって、1年生はとても嬉しそうでした。お兄さんお姉さんとハイタッチをしたりハイバイしたりしてバスに乗車しました。千葉市動物公園では、グループで見学することにチャレンジしました。

ライオン学校の様子、優雅に泳ぐアザラシの姿、のんびりと草を食むキリン、人間らしいしぐさをするゴリラ、微動だにしないイシビロコウ、科学博物館の展示物にも興味津々の子もたちでした。グループ行動する中で、仲間とはぐれてしまったり、予定外のコースに行ってみることにしたり、思いがすれ違ったり・・・と大変なこともあったのですが、これも学習の一つです。困ったことを解決するために、みんなで声を掛け合ったり知恵を出し合ったり、もちろん先生たちに相談したり・・・、そんな姿にこの半年の成長を感じました。



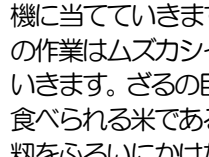
## 虫探しに夢中！



10月23日、1年生が生活科の学習で、北方遊水池に虫探しに行きました。虫取り網を持って、は

りきって虫探しに出発したものの、遊水池の広大な草原のどこをどのように探したらよいのか・・・。しかし、何としてでも虫を見つけない、捕りたいと思う子どもたち、水場も森の中もどんどん進んで虫を探していました。目が肥えてくると、草のかげや根本など上手に隠れている虫を見つけることができ、夢中になって捕獲していました。今回は、キャッチ&リリースではなく、捕獲した生き物は持ち帰ってもよいと承諾をいただいたこともあって、子どもたちも飽きることなく虫取りをしていました。なんと、1時間半も・・・。教員のほうが、「もう帰ろうよ～」と。一時間半で、虫かごには、たくさんの虫たちが！心ゆくまで虫取りができた1年生でした。

## ようやく脱穀まで



5年生が、9月に収穫し、乾燥させていたうるち米ともち米を、みどりのみずがき隊の皆様の指導を受け、脱穀しました。使うのは、およそ大正時代のもんと言われている「足踏み式脱穀機」を。ペダルを踏んで脱穀機を動かしながら、稲穂の束を表に裏にと動かして、稲穂が付いているところを脱穀機に当てていきます。みずがき隊の方が一緒にやってくださいましたが、ペダルを踏みながらの作業はムズカシイ・・・。脱穀された粃をふるいにかけて、ごみと分けていきます。ざるの目の粗いほうから始め、目の細かいところに残った米が食べられる米であるということです。脱穀作業が終わると、手分けをして粃をふるいにかけて、粃が外れるようバットでたたいたりしました。プ





ルーシートの上で車座になって作業をしていく姿は、まさに日本の原風景?!のどかな雰囲気の中、作業が進んでいきました。粳付きですが、うるち米もち米も 10 キロ弱になりました。今後、粳粥りと精米をすると食べられる状態になります。お米になるまであと一息!米農家さんの苦労を身に染みて感じている5年生でした。なお、もち米は、12月のオープンスクールで餅つきに使う予定です。

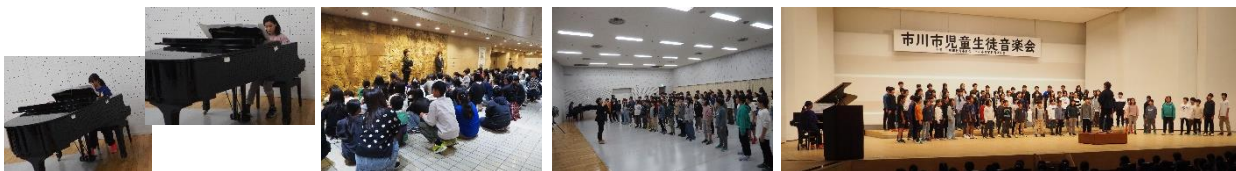


## 大舞台に!

11月7日、6年生が市内音楽会に出演しました。市川市文化会館の大きなステージで、「地球を歩け」と「ぼくらの未来へ」を熱唱!

文化会館に出發する直前まで歌の練習をしていた6年生。より良い歌にしようという気持ちが強かったのでしょう。文化会館でのお弁当タイム。食べ終わった数人が歌の練習を!気持ちは、早くもステージに向かっていたのかもしれない。リハ室では、「本番前、ここでしか声を出せないから、思いきり歌おうね。とにかく、口をしっかりと開けて、笑顔で!」と先生。緊張した表情の子どもたち、一曲目「地球を歩け」は、思うように声が出ませんでした。二曲目の「ぼくらの未来へ」は、美しい高音と伸びやかな歌声が出て、表情もよくなりました。ホッとしたのもつかの間、「時間です!」と舞台袖へ。緊張はMAXへ。「笑顔!笑顔!!」と先生方。

そして、光り輝く舞台へ!ステージに立った子どもたちは、みんな落ち着いた表情をしていました。1500人の前で、すばらしい歌声を!音がよく響く会場ではありますが、それを差し引いたとしても素敵な歌声でした。さすが、大野っ子!今週は、校内音楽会。6年生の歌声を、みんなが楽しみにしていることでしょう。



## 感謝の気持ちをこめて!

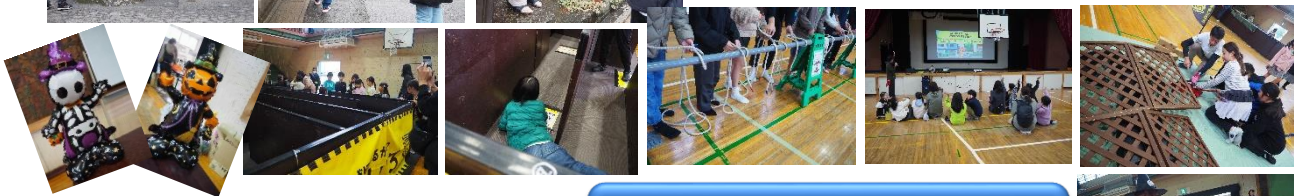
所に伺います。日頃見守ってくださっていることへの感謝の気持ちを伝え、花苗と手紙をプレゼントします。かけこみ 110 番の場所がわかることだけでなく、お互いに顔がわかることで、有事の際には助けを求めることができること。また、地域の方々が、自分たちのことを見守っていることがわかるという意味で、大切な活動だと感じました。併せて、三和商事さんによる防災ブースで様々な体験をしました。簡単に結ぶことができてほどけないロープワーク、クイズで知る防災減災の知識、倒壊家屋から人を救助する方法、ほふく前進で進む防災迷路で避難の仕方を学び・・・、どのブースも防災士が丁寧に教えてくれたので、良い体験・経験となりました。時はハロウィン



10月25日(土)、PTA主催の「かけこみ 110 番 ウォークラリー」が行われました。

参加した子どもたちでチームを作り、かけこみ 110 番を引き受けてくださっているご家庭や事業

ということもあり、お土産におやつをたっぷり!かけこみ 110 番ウォークラリーも含め、こういった日ごろの備えが、自分の身を守ることにつながるでしょう。PTAの皆様、ありがとうございました。



10月14日(火)、4年生と5年生を対象に、書道家による「己書」の授業がありました。「己書」とは、その字のごとく、書き順や

形、書き方にとらわれず心のままに自由に筆を走らせる書のことだそうです。口がOでも、下から上でも、何でもありです。今回は筆ペンを使いました。自由に筆を走らせるためのポイントを練習したあと、「ありがとう」という文字を書きました。今回は初めてだったので、先生の書き方を真似て書きましたが、みんな

## 心を解き放して!

上手!最後に、絵の具で装飾し完成です。なんとも味のある作品ができました。「楽しい!」「書写はこれかい!!」と大好評。「心のままに自由に・・・」自分の思いをたっぷりと表現できた大野っ子たちでした。

